

第35回児童生徒県南美術展開催中!

今年で35回目となる児童生徒県南美術展が角館町平福記念美術館で開催されています。

今年には県南7市町村(仙北市・大仙市・美郷町・横手市・湯沢市・羽後町・東成瀬村)の小中学校91校から1131点の作品が寄せられました。子どもたちの力作は1月29日(日)まで展示されますので、ぜひこの機会にご覧ください。



写真は今回展示している作品

ロケーションだより

かくのだてフィルムコミッション

かくのだてフィルムコミッションが所属するジャパンフィルムコミッションでは、毎年、全国ロケ地フェアを開催しています。全国のフィルムコミッション(以下「FC」)が集まって、映像関係者に各地域のロケ地を宣伝するもので、今年は10月24日に六本木ヒルズを会場に開かれました。今年は65のFCが参加。10のエリアブロックに分かれてブースが設けられ、ポスターやパンフレット、パソコンをつかった情報提供などが行われました。かくのだてFCは東北ブロックのブースに窓口を設置。ロケ地として利用されることも多い仙北市ですので、馴染みの制作関係者も訪れ、情報交換やオススメのロケ地の紹介などをいたしました。

かくのだてFCは設立10周年を迎え、今までの事業を基に次の時代へ向っています。県内初の設立ということで市民の皆様から様々な協力をいただきました。これからエキストラ登録などを始め、広くご協力をいただきながら仙北市の魅力公開に努めたいと思っています。

かくのだてフィルムコミッション (仙北市観光課内)
☎ 43-3352 <http://kakunodate-fc.jp/>



「雪景色がロケ地に最適な武家屋敷」

澄清湖・田沢湖姉妹湖 提携25周年記念事業

昭和62年度に行った姉妹湖提携から、25周年を迎えます。節目の年を記念してこの度、仙北市国際交流協会(高橋練三会長)が主催した100人を超える訪問団が台湾を訪れ、日台の友好親善を深めました。

姉妹湖提携25周年 記念訪問団交流

11月14日、提携先の經濟部台湾自來水公司第七区管理處で姉妹湖提携25周年の記念式典が開催されました。市内高校生も同行した今回の訪問で、「澄清湖と田沢湖の永い友好関係を築くため、若い人たちの意識向上が必要」と門脇市長が挨拶。また、高橋会長は挨拶で相互交流が今後30周年、40周年と続くよう祈念したほか、同管理處から贈られた東日本大震災に対する義援金への感謝を述べました。

会場では、角館高校飾山囃子同好会による伝統芸能や、仙北市こまち会による梵天の奉納が披露され、大きな拍手が送られました。

温泉提携協定 締結1周年を迎えて

北投石を縁として、玉川温泉と台湾台北市の北投温泉は温泉



仙北市から贈られた桜の苗木

高校生による 文化交流等

今回の交流事業の一環として、角館高校飾山囃子同好会14人による現地高校生との文化交流を行いました。台北市、

提携協定(平成23年8月19日)を交わしました。7月には台北市から温泉視察訪問団が仙北市を訪れ、温泉管理や温泉施設、温泉を使った療養方法などについて意見交換や、玉川温泉、澄川地熱発電所、大湯リハビリ温泉病院などを視察するなど、各研究を推進するための交流が活発に行われています。

11月11日に締結1周年を記念して、台北市北投温泉で記念式典が開催され、翌日には台北市陽明山で桜の苗木の寄贈式が行われるなど、一層の友好交流を誓い合いました。

埔里鎮、高雄市と3つの高校を訪れ、郷土伝統芸能である飾山囃子を披露し、各学校の生徒たちと交流を図りました。

中でも台北市立士林高級商業職業学校(生徒24人)は、11月18日から20日まで修学旅行で仙北市を訪れ、両校の生徒はさらに交流を深めました。また、台北市と高雄市で観光宣伝会を開催し、多数の旅行社やマスコミ関係者が集まり、秋田県や仙北市の観光などを幅広く宣伝しました。



盛大な歓迎を受けた交流会

世界初の姉妹湖提携

昭和61年度、田沢湖町商工会地域活性化事業の中で、観光振興として観光客の少なかった冬の田沢湖へ台湾からの誘客提案があり、翌62年4月および8月に台湾での対日本外交部に当たる亜東関係協会東京弁事處の林金莖副代表を訪ね、澄清湖を紹介されました。

これに基づき、田沢湖町商工会と田沢湖町観光協会が、田沢湖国際交流促進協議会を組織し、田沢湖と澄清湖との「姉妹湖」提携を行う準備を進め、同年、澄清湖を管理する「台湾省自來水公司(当時)」を訪れ、澄清湖畔にて姉妹湖提携の調印を行い、以後、モニメントの交換や往来を伴う相互交流を重ね、日台の友好親善に寄与しています。



姉妹湖提携25周年を祝い記念品の交換